

むかわ町地域公共交通活性化協議会

平成20年2月27日設置
平成21年3月16日連携計画策定



概要

むかわ町は、平成18年に鶴川町と穂別町が合併して誕生した町であるが、バスの運行系統が合併前の系統を踏襲したまま2つに分かれており、利便性・効率性の高い運行が行われていないこと、また、人口の減少、高齢化が進展するなか、バス利用者数は横ばいで、早急な経営改善が求められていることから、むかわ町バス事業運営委員会の設置、コミュニティバスの導入、デマンドバスの導入、2地域間交通及び町外との交通の確保等により、地域と連携した持続できる効率的な交通体系の構築を図る。

○むかわ町バス事業運営委員会の設置(21年度～)

・バス事業を地域社会の活性化、高齢者福祉等の視点で進めるため、地域住民主体の運営による「むかわ町バス事業運営委員会」を設置し、運賃制度の改善、待合施設の多目的化等の基盤整備など、バス事業全般の運営管理を行う。

○コミュニティバスの導入(22年度～)

・鶴川地域において、市街地での「通院」、「買物」の利便性を高めるため、現行の定時定路線の運行形態を保持しつつ、路線・ダイヤを改善のうえ、コミュニティバスを導入する。

○デマンドバスの導入(21年10月～)

・穂別地域において、各戸配備のテレビ電話を活用した予約システムによるデマンドバスの導入を図り、さらに鶴川地域における導入についても検証を行う。

○2地域間交通及び町外との交通の確保(21年10月～)

・鶴川・穂別の2地域間交通について、スクールバスとの調整、乗合タクシーの導入も視野に、民間及び町営バスの運行形態を整備し、利便性・効率性の向上を図る。
・鶴川・穂別のそれぞれの地域と交流が多い町外各方面への交通確保のため、JRや都市間バスとの接続を改善する。

